

大阪万博誘致特別機の「HONA IKOKA!」号が、 夢を乗せテイクオフ！ ～未来がまた、ここからはじまる。～

- ・ 万博誘致特別機の名は「HONA IKOKA!」号
- ・ 本日、5月9日にお披露目し、運航開始
- ・ 「HONA IKOKA!」号の披露イベントには松井一郎 大阪府知事が出席

2025日本万国博覧会誘致委員会のオフィシャルパートナーのPeach Aviation株式会社(以下:Peach、代表取締役CEO:井上 慎一)は、本日より運航を開始する、万博誘致特別機を関西空港にて披露しました。なお、万博誘致特別機のネーミングは、一般公募し、多数いただいた応募の中から、「HONA IKOKA!」号に決定しました。



井上CEOと松井知事(写真中央 左・右)、アブロードインターナショナルスクールの生徒の皆さん

本日、2025日本万国博覧会誘致委員会会長代行の大阪府 松井一郎知事をお招きし、関西空港第2ターミナル駐機場にて、万博誘致特別機披露イベントを実施しました。

代表取締役CEOの井上慎一は

「この特別機の運航で、大阪への万博誘致の機運は、これまでないほどの上昇気流のカーブを描き、最高潮へと達していきます。万博特別機の名前となった“HONA IKOKA!”は、大阪への万博誘致への機運を勢いづけるのに相応しい言葉です。万博が来たら大阪・関西に“ほな行こか!”とアジア各国の人々に空飛ぶ電車で気軽に来てもらえることを願っています。Peachの機内アナウンスでも馴染みの“おおきに!”のように、外国の方や、関西以外の方にも言いやすく、愛着を持っていただける言葉だと感じています。本日より運航する、この万博誘致特別機とともに、日本とアジアのかけ橋を描くPeachが、大阪から日本全国へ、そしてアジア各国へ2025年の大阪への万博誘致の機運をさらに盛り上げてまいります」と述べました。

松井一郎 大阪府知事は、「このたび、Peachにご協力を頂き、万博誘致のシンボルマークをラッピングした万博特別機を運航していただくことになりました。巨大な誘致ロゴマークをラッピングしたPeachの機体が各都市を飛び回っていただき、大阪の万博誘致の空飛ぶ広告塔としての役割を担っていただくことを大いに期待しております」と、述べられました。

「HONA IKOKA!」号は2025年の大阪万博実現の夢を乗せ、本日の午後、MM189便の大阪(関西)ー宮崎線として運航を開始しております。

また、万博誘致特別機の運航に併せて、さらに大阪万博誘致の機運に拍車がかかるよう、関西空港第2ターミナル国内線パブリックエリアでは、1970年の大阪万博の様子を伝えるパネルの特別展示を実施しています。(2018年5月9日から2018年5月15日まで)

初日となった本日は、1970年大阪万博パネルの前で、万博ミュージアム代表 白井達郎様が、アブロードインターナショナルスクールの生徒の皆さんに1970年当時の様子をご紹介する取り組みを実施しました。



白井様による1970年当時の万博の様子を聞く生徒の皆さん

Peachは、大阪生まれの唯一のエアラインとして、2025年の大阪万博開催の実現に向けて全面的に協力していくとともに、大阪万博誘致の機運を盛り上げてまいります。

<“HONA IKOKA!号”のネーミング由来について>

Peachは2018年3月16日から2018年3月25日にかけて、Facebook、twitter、そしてInstagramで万博特別機のネーミングをお客様から募集し、数あるネーミング案の中から「HONA IKOKA!」に決定しました。

「HONA IKOKA!」号のネーミングについて最優秀賞に選ばれた辻克朗様は、

「未来がまた、ここからはじまると言う想いを“HONA IKOKA!”に込めています。1970年の大阪万博では世界や日本中の人に、未来に対しての希望を大阪から感じてもらえたと思います。大阪弁の“ほな いこか!”には、さあやるぞ! みんなでやろう! みんなで行こう! そこに行こう! そんな意味があると思います。そして大阪の人ならではの、前向きなことを少し、照れを隠すように、大変なことも何だかんだ言いながらもやってしまう、何とも言えないユルさも感じられる、いい言葉だと思いました。」と、由来についてコメントをいただきました。

<Peachの実施する誘致活動>

1) 大阪万博誘致特別機の運航

Peachが所有する20機の内、1機(JA820P)の機体後方サイドへ、大阪万博誘致の特大大ロゴを、そして機体前方ドアサイドに「HONA IKOKA!」号のロゴを掲示。本日、2018年5月9日のMM189便の大阪(関西)ー宮崎線として運航しています。当該機は、北は北海道から、南はタイ・バンコクまで、国内外での大阪万博誘致活動の認知度向上に寄与します。

2) 関西空港のチェックイン機「KIOSK」が、大阪万博誘致バージョンに

関西空港の第2ターミナル(国内線・国際線)に設置している計18台のPeachのチェックイン機「KIOSK」のデザインを一新いたしました。このチェックイン機の外装は段ボールで出来ており、その特性を活かして、大阪万博誘致のロゴマークを印刷したものを新たに設置しております。関西空港からご出発される国内外のお客様へ大阪万博誘致活動の認知度を高めています。

3) 客室乗務員・空港スタッフ全員で、大阪万博誘致のバッジを着用

2018年3月1日より、客室乗務員およびすべての国内空港スタッフが、大阪万博誘致のバッジを着用し、招致活動を盛り上げています。

4) 機内アナウンスの実施

2018年3月1日より、客室乗務員が、到着地に着陸した後の機内アナウンスにて、大阪万博誘致の内容をご案内し、Peachを利用してくださるお客様へ大阪万博誘致活動の認知度を高めています。

[Peach について\(www.flypeach.com\)](http://www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。2014年7月には那覇空港、2017年9月には仙台空港を関西空港に次ぐ拠点空港としました。現在、20機の機材で、国内線15路線、国際線15路線に就航し1日あたり最大約100便以上を運航するとともに、13,000人以上のお客様にご利用いただいております。2018年4月26日に沖縄(那覇)ー高雄線が就航、8月1日からは大阪(関西)ー釧路線を就航させるほか、2018年度内に新千歳空港を拠点空港とする予定です。